

会報

京都マイコン研究会

第 88 号

(通算105号)

1994年11月1日 発行

発行人 圓口佳昭

トピックス or ニュース

京阪奈学術研究都市を散策

編集部 増田

教育文化週間、文化の日とお金や物では得られない唯一の財産として、人類が受け継がれてきた知識を蓄積できる。晩秋から立冬にかけての時季になりました。

編集部は、来る11月13日、世界に発信する京阪奈学術研究都市を散策いたします。

さらなる欲望を満たさそうと思われる、研究や好奇心の旺盛な、我が研究会員諸氏を先頭に後から付いていきますので皆さんの参加をお待ちしています。

利用していますかパソコンを。日に1回は、パソコンとTomopyにあいさつしていますか。

わたしは、日に最低3回、無意識のうちにおじぎをしています。でないとパソコンがときどき豹変するのです。

秋の散策

立冬

京阪奈学術研究都市千ヨツとさんぽ…

ロマンと欲望と無味無臭のあなた。未知なる野望を見つけに参加しませんか。
元氣と若さがよみがえる近未来コミニケーションゾーンへ
伊吹弥三郎ならひとまたぎの、毎日でも行けるこの近さ。

日時 11月13日(日) 午前9:30分

集合場所 八幡市城之内20番地
増田宅(075-981-0063)

見学内容 見れるものすべて
携帯電話 030-72-87403

部会開催 予告

1994

MS-DOS ビギナーズ 部会 第5回

部長 河原

●11月23日 pm. 7:30~9:00 登録者: 加藤・若林・小寺・松田・大塚・仁賀・安田

■場所 八幡市八幡城の内20番地 電話 075-981-0063 増田マイコンルームにて

MS Access 部会 第3回

部長 岩井

●11月5日 pm. 7:30~9:00 登録者: 中西(洋)・加藤・若林・鍵田・増田

■場所 大山崎ふるさとセンター

MS Works 部会 第3回

部長 圓口

●11月5日 pm. 7:30~9:00 登録者: 大塚・仁賀・鍵田・安田

■場所 大山崎ふるさとセンター

例会報告!

10月1日 (pm. 6:30)

大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 圓口、岩井、中辻、中西洋、
大塚、若井、増田、安田、加藤

9名

6:30 マイコンサロン

7:30 第2回 Works部会

第2回 Access部会

次回例会

日時 11月5日(土) pm. 6:30

場所 大山崎ふるさとセンター

内容 Works部会

Access部会

Tomoppyの愚考 その2

前号よりの続き

2. 症状1) の対策

この処方箋するのが、大変難しい。この説明に理解できない方は申し訳ないが、例会でその筋の猛者に質問を希望する。

2.1 ハードディスクのドライブが一つの場合

まず、現在の「AUTOEXEC. BAT や CONFIG. SYS」を次のようにファイルを作成する。

```
A:¥>COPY A:¥AUTOEXEC. BAT *. WIN [RET]
A:¥>COPY A:¥CONFIG. SYS *. WIN [RET]
```

これで、WINDOWS用の起動関連のファイルをリネームして保存した。

一太郎やロータス123を起動する「AUTOEXEC. BAT や CONFIG. SYS」を作成する。その一例を示す。

2.1.1 一太郎用 AUTOEXEC. BAT と CONFIG. SYS の記載内容

バージョンにより、記述内容が異なる様で、説明を省略するが、一太郎ディスクにある「AUTOEXEC. BAT と CONFIG. SYS」を次のようにハードデスクへ転送する。(但し、フロッピーディスクを入れたドライブ名をn:とした。)

```
n¥:>COPY AUTOEXEC. BAT A:¥*. ATK
[RET]
n¥:>COPY CONFIG. SYS A:¥*. ATK [RET]
```

※ 正規のインストールをハードディスクへ行ったときも、インストール終了後、上のようにコピーのファイルを作成しておく。

2.1.2 ロータス123 AUTOEXEC. BAT と CONFIG. SYS の記載内容

上の説明と同じく、次のようにファイル名を変更したコピーファイルを作る。

```
n¥:>COPY AUTOEXEC. BAT A:¥*. 123
[RET]
n¥:>COPY CONFIG. SYS A:¥*. 123 [RET]
```

※ 正規のインストールをハードディスクへ行ったときも、インストール終了後、上のようにコピーのファイルを作成しておく。

2.1.3 AUTOEXEC. BAT と CONFIG. SYS 切り替え用バッチ・ファイルの作成

ここでは、windows/一太郎/ロータスの三つのアプリケーションの切り替え用ファイルを三つを作成する。まず、エディタを呼び出して作る。(この使用法は、日電のマニュアルを精読する)

```
A:¥>YDOS¥SEEDIT A:¥TARO. BAT [RET]
記述内容
A¥:>COPY AUTOEXEC. ATK A:¥*. BAT
A¥:>COPY CONFIG. ATK A:¥*. SYS
```

ファイルをセーブ (保存) する。再度、エディタを呼び出す。

```
A:¥>YDOS¥SEEDIT A:¥123. BAT [RET]
記述内容
A¥:>COPY AUTOEXEC. 123 A:¥*. BAT
A¥:>COPY CONFIG. 123 A:¥*. SYS
```

ファイルをセーブ (保存) する。再度、エディタを呼び出す。

```
A:¥>YDOS¥SEEDIT A:¥XWIN. BAT [RET]
※ WIN. BAT は、他に使用済み。
記述内容
A¥:>COPY AUTOEXEC. WIN A:¥*. BAT
A¥:>COPY CONFIG. WIN A:¥*. SYS
```

2.1.4 三つのバッチ・ファイルの使い方

もし、起動した画面がWindowsで、目的の一太郎わーぷろを使いたいときは、一旦、Windowsを閉じてDOSモードにして、「A:¥>TARO [RET]」とするとメッセージが現れ、再度、DOSプロンプトンがあらわれたら、リセットを押し再起動すると、一太郎が画面に現れる。

逆に、Windowsに戻るときは、DOSプロンプトンから、「A:¥>XWIN [RET]」として、上の操作と同じくリセットを押すと、Windowsの画面が現れる。ロータス123も同じようにすれば、よい。もし、DOSモードで、一太郎と123を切り替えるときも、DOSモードに戻り、前記と同じ操作をする。

2.2 ハードディスクのドライブが二つ以上の場合

2.2.1 DOSのアプリケーション・ソフトを一つのみ使用

Windowsに使ったドライブ以外のDOSモードの起動ドライブへアプリケーション・ソフトに準じてインストールすれば、よい。

2.2.2 DOSのアプリケーション・ソフトを二つ以上を使用

2.2.1) 項と同じドライブへインストールするのであるが、これには、DOSのコマンド機能を使用して作成は出来るが、高度な知識が必要である。市販のメニュー・ソフトを使って構築するのが賢明で、それらを使用されることを勧める。

最後に一言、購入の動機が「MS-Windows」であったなら、旧世代のDOSのアプリケーションに眼を向けなくて欲しい。どうしても、DOS世界に戻りたければ、Windowsを使って欲しくない。また、友人などから、推薦されてDOSのアプリケーションを譲受けないようにして欲しいものだ。何故なら、Windowsの世界の方が上流階級なんだ。もっと、プライドをもってWindowsと付き合って頂きたい。
以上。

(Tomoppy)

LANボードの体験予告 (Tomopy)

近く、メルコ社のLANボードを購入して、自宅のマシン・PC9801/DAとPC9821/ASに接続して、ネットワークを嗜する予定である。購入動機は、MS-WINDOWSとMS-DOSモードのどちらもサポートしていることが、最近発行の某雑誌から判明したからである。購入予定のボードは、8台のマシンが接続可能のハブを持ち、10BASE-Tケーブル接続の予定である。次号には体験記事を期待して下さい> (*_*)

日電・新製品の連続発売に頭が痛くなる

(Tomopy)

今年に入ってから、日電・新製品ラッシュが続いている。こんな戦略で、昨年、急成長したMACやDOS/V互換機を追い落とせるのだろうか。今回の発表は、内蔵HDDや周辺装置もMACやDOS/V互換機にも接続機種が増え、価格も下がっている。

最近、日本橋のパソコン・ショップを見ても、日電の商品の陳列が少なくなっている。小生の独断ですが、価格低下でマージン率が低下して取り扱い量を減らしていると思っている。また、PC98の中古市場での儲けもなくなったのではないかと思われる。

小生が使っているマシンPC9821Asの3世代、PC9821As3が最近、発売されたので、主な機能向上と価格比較をした結果を下記に示す。

	初代機		
3世代機			
CPU/クロック	486DX/33MHz		
	486DX2/(66MHz)		
Memory (RAM)	3.6MB		
	7.6MB		
W-アクセラレータ	別売 (アクセラレータボード A)		内蔵
	(1280 x 1,024ドット 256色)		
サウンド機能	FM音源機能、PCM録音・再生		同
	左		
HDD容量	120MB	内蔵	340MB
	内蔵		
FDD	3.5" 1台	(1.2MB/1.44MB)	同
	左		
CD-ROM装置	なし		2倍
	速内蔵		
RS232Cポート	9600bps		
	19200bps		
インストールソフト	MS-DOS5.0A-H		同左
	+ MS-WINDOWS Ver. 3.1		

価格 ¥498,000 ¥458,000

内容から見て、買い替えたいところだ。けれども、4世代が生まれるか、先のことは闇であるが、満2年も使っていないのに買い替える気にならない。見送りたい。

でも、初代機にメモリやウインド・アクセラレータA、HDD装置の増設、CD-ROM装置の購入などを積算したら、3世代機の価格は、1.5年でもの凄い下落だ。ああ、DOS/V互換機が安いと云っても周辺装置のアクセスが遅ければ、日電マシンはまだ、優等生だ。

(終わり)

98カラーノートへMS-WINDOWSのインストール

(Tomopy)

PC98シリーズ・ノートのカラー (640 x 480 dot) を購入する方が激増している。MS-WINDOWSをプレインストールしている製品は若干高価であるため、購入する立場からは少しでも安く買いたいから、(ソフは友人関係から無償で手に入ることを期待している?) ハードディスクを別に購入して、インストールすることになる。そのとき、困ったことが生じるので、その一端を紹介する。

1. 日電版MS-WINDOWS 3.1をインストール

1994年度に新規に購入した「日電MS-WINDOWS 3.1」であれば、本体へインストール後に付属してきたアップデート・ディスクを更にインストールすれば、問題無くカラー (640 x 480 dot) 画面を表示してくれる。

1993年度版をインストールしたなら、更に、バグ退治した3枚セットのアップデート・ディスクを使ってインストールして、その後、本体に付属してきたディスクを入れて終了となる。

2. マイクロソフト版MS-WINDOWS 3.1をインストール

1994年夏以降の製品を使えば、問題はなさそう。勿論、本体に付属したディスクのインストールは同じ操作が必要。それ以外は、悲惨な眼に合う。画面が 640 x 400 dot のままである。

3. デスクトップにあるファイルを全部転送

デスクトップ側での画面設定があるため、ノート側は起動後、マイクロソフトの旗が出た後、何も表示しない。この対策は、いろいろあり、体験者しか判らないを苦痛を味わう。

さて、会員の皆さんはどのタイプを味わうのでしょうか。<終わり>

連載 「パソコンとMS-DOS 初心者入門」 第5回 (Tomoppy)

10月号続き

7. COPYA

補助入出力装置「例 通信ポート (通称:RS232C)、テープパンチャヤ、カセットなど」とのデータ送受信をする。

> n: COPYA n:xxx.TXT AUX コンピュータから、ファイルを補助装置へ送る。

> n: COPYA AUX n:xxx.TXT ファイル名を確定して補助装置からデータを受ける。

> COPYA /B 上の説明にオプション「/B」を付けると、バッチモードのファイルの転送ができる。パソコンどうし間のアプリケーション・プログラムの転送も可能。

8. CUSTOM

> n: CUSTOM CONFIG.SYS の作成や更新に使う。

> n: CUSTOM n:ATOK9.DEV ADDDRV コマンドに使う、定義ファイルの作成に使える。

※ 著者は、フルに活用していた。今は、大容量のファイルを使っているから、御無沙汰である。

9. DISKCOPY

説明するまでもなく、フロッピーディスクのファイルを壊したときを予定して保険のように他のディスクへ予備に作成するコマンドである。パソコンを始めたら、一番最初に習得するコマンドである。

> n: DISKCOPY A: B:

10. DELDRV

ADDDRV のコマンドで説明したように、ADDDRV で定義ファイルに記述したデバイスドライバ・ファイルがメモリに組み込まれている。そのデバイスドライバ・ファイルを開放するのに使う。

今回は、ここで中断する。この記事は、気温が30度以上が続く、外気温が流れる込む部屋で、更に、マシンの放熱で加温された場所で作成したので、説明不足や意味不明の解説があれば、この酷暑に免じて下さい。クーラーを働かせば、との声も聞こえますが、そこはご想像に任せます。(+_+);

1994. 8. 28

前回到続いて「外部コマンド」の解説をするが、一般的にあまり使用されていないコマンドもあり、小生の独断と偏見で選択して進めたい。(文中の n: は、すべてドライブ名を指す)

会員の皆さんは、この入門編をどんな環境で読んで戴いているのか、一言、会報へ短文で投稿を希望する。

11. DISKCOPY

フロッピーディスクの内容を他のフロッピーディスクへ複写 (コピー) するときに使う。

> DISKCOPY A: B: [オプション]

[オプション] は /V コピーした後に、内容を照合する。(これを付けると複写やしたときのミス防止できる)

/Q 内容照合せずに高速に動作する。(DOS 5.0 以降のみ)

12. DOSKEY

コマンドラインでのコマンド入力を便利にしてくれる。(DOS 5.0 以降のみ) 常駐コマンドでコマンドバッファ・サイズの変更やコマンドの履歴 (ヒストリ) を表示する。[オプション] は、DOSのリファレンス・マニュアルを参照。(DOS 5.0 以降のみ有効)

13. DOSSHELL

フリーソフトのFD (ファイル・ディスク)、FM (ファイル・メンテナンス)、FS (不詳) や市販のエコジョーと市販のアプリケーション・メニュー (各種有り、フリーソフトも勿論ある。詳細省略) を組み合わせたアプリケーションである。現在は、日電以外のハードディスク (HDD) を購入すると便利な同種のアプリケーションが付録に付いてくるので、現在は、あまり使われていない。過去の製品になった。(DOS 5.0 以降のみ有効)

14. DUMP

ハードディスク、または、フロッピーディスクに存在する「ファイル」内容を16進数か、10進数で画面へ表示するコマンドである。プログラム開発に必要なコマンドである。過去には、このコマンドを使ってプログラム複写防止の鍵を外すために多用したものだ。現在では、有名な「エコジョー」を使って簡単に画面へ表示できる。

15. EDLIN

懐かしいコマンドだ。今頃、これを使っている方は、かなり、こだわりを持っているか、閉鎖的な人だ。この連載の後半に出てくる「SEEDIT」コマンドを使えば、このコマンドを覚える必要内なので、説明をジャンプする。このコマンドは、有名なシモン・デジタルコンピュータ社 (DEC) のマシンに使われていたコマンドである。それが、今は亡きデジタル・リサーチ社のCP/M (8ビット・マイクロコンピュータ) に使われて、MS-DOSへ継がれたコマンドである。

16. EXE2BIN

EXE (実行可能) ファイルをバイナリ形式へ変更するコマンド。このコマンドはプログラム以外は、滅多に使わない。バイナリ形式へ変更したファイルを何に使うか。指定したメモリ領域へロードして、実行プログラムから、呼び出して使用している。最近、メモリが多量に使えるようになったことから、バイナリ形式のファイルを見るのが少なくなった。

今回は、「F」文字からを紹介しよう。この連載は、数回で終わる予定であったが、残り6回程度の連載になりそう。冒頭に述べたように、連載に関する感想が欲しいな。

(続く)

原稿を順番前後になっている方々に依頼いたしましたが、今だ入稿がありませんので、今回はおやすみにさせていただきます。次号までにはよろしく。(上田・神賀・田中・笹本)

デスクトップパブリッシング プロフェッショナル 部会情報



フォントのグループ

皆さんが、言うところの書体とは、明朝体とかゴシック体などの総称であり、フォント名ではありません。下記に表示させていただきました。明朝体の中でも、これだけスタイルの違いが見られます。表現する内容やパンフレットか冊子などの出版物かによって使いわけをするのです。今回は一部コンピュータのシステムの都合で総てお見せ出来なかったのですが、「あ」一つ見ても解かっていただけだと思います。

標準明朝

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

MS-明朝

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

平成明朝W3 (ダイナフォント)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

明朝 (フォントギャラリー)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

明朝体MTM (フォントギャラリー)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

リョ-ビ本明朝L (フォントプロ)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

ツァイトベジエ明朝 (フォントプロ)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

ツァイトベジエ極太明朝 (フォントプロ)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

標準ゴシック

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

MS-ゴシック

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

HGゴシックE (リコー)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

平成ゴシック体W5 (ダイナフォント)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

ゴシック (フォントギャラリー)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

ゴシックMTM (フォントギャラリー)

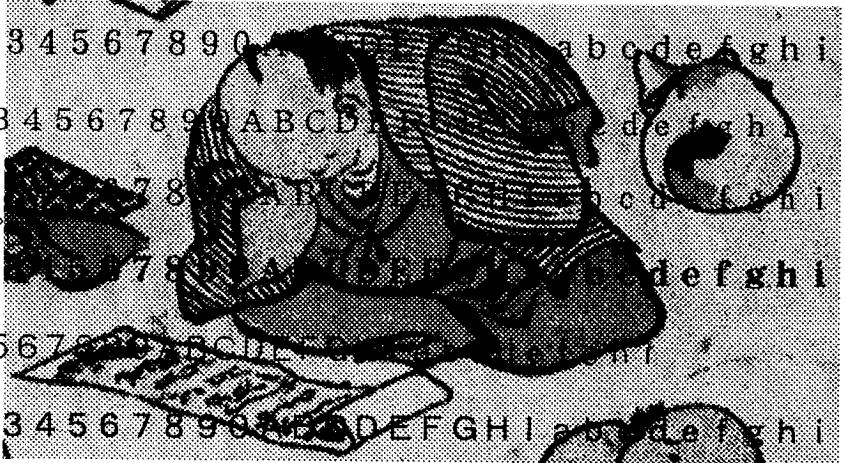
あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

ツァイトベジエ極太角ゴシック (ツァイト)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi

リョ-ビナウGB (フォントプロ)

あいうえおかきくけこさしすせそ1234567890ABCDEFGHI abcdefghi



デスクトップパブリッシング プロフェッショナル 部会情報

活字二題

増田則雄

私の会社も、活版とタイプ活字は現在おざなりにして、数万字廃棄処分をして一部残っていますが、今回記載させて頂いた内容を噛み知れば、古い資産が捨て難い先達の歴史の積み重ねなのです。

本木昌造逸事

足立巻一

日本の活版術を開発した本木昌造に興味を持つようになったのは、わたしの父菰川、祖父敬亭の歴史を調べている最中のことだった。

菰川は本名靖一、大正二年三十四歳で急死したが、秋山定輔が創刊した二六新報の同人だった。敬亭は本名清三、大正十年六十四歳で長崎の風呂屋で頓死したのであるが、祖父もまた西道仙がおこした長崎新聞にしばらく勤めていた。そうした父と祖父との新聞歴をさかのぼっているうちに、本木昌造らの活版術開拓者の波瀾をきわめた生涯に触れたのである。本木は代々のオランダ通事の家筋を継いで蘭学を学ぶうちに活版術の開発に打ち込み、嘉永末年に流し込み活字の製法を發明して最初の活版印刷に成功した。そののち、ロシア使節の通訳として下田へ行き、こんどはそこで鉄船の製法を学び、土佐藩の求めで小汽船の模型をつくったり、海軍伝習所が開かれると通訳となったり、あげくはある事件に巻き込まれて五年間も投獄されたり、かと思えば出獄すると幕府の長崎製鉄所の汽船長になつて江戸・大阪・長崎を航海し、そこで暴風に遭い、八丈島に漂着して百五十日間も釘づけになつていたというから、その変転ぶりはまことにさまざま。維新後、本木は八丈島から長崎に帰り、新町で私塾を開きながら初心の活版術の研究を進め海で鉛の活字が作られていると聞き、知人を数回派遣して調べさせたが、相手は秘密に教えてくれない。次号へ続く

明朝体

明朝体は現在のようなくらい美しい書体は長い年月のなかで洗練されたものである。現在につらなる活版印刷は、明治二年(一八六九)に、本木昌造(一八二四〜一八七五)によつて、長崎(長崎新町(街)活版所)において創始された。その基礎になつたのは、中国、上海の美華書館においてすでに実施されていた号数活字のシステムになつたものである。また、号数活字の中心である五号活字の書体は、美華書館で整備されていた、五号明朝体を模刻したものである。詳しい比較検討は省略するが、『新約全書』(一八六九年刊)は、当時、美華書館において使用されていた五号明朝体である。また、大内青嶺編輯『報四叢談』(一八七四年刊、報知社印刷)は、長崎新町活版所の五号明朝体で、『新約全書』の五号明朝体になつて作られたものである。鈴木力著『新々長崎土産』(一八八九年刊)は、長崎新町活版所の印刷、発行によるもので、とくに初期の四号明朝体およびひらがなを用いて印刷されたものである。四号、五号は、当時、本文用であった。粗雑としかいえないようがない書体である。しかし、日本の活版印刷、活字書体はこれを起点にして出発したのである。なお、新町活版所の経営は、明治四年(一八七〇)に本木昌造から門弟の平野宮二(一八四六〜一八九二)に受け継がれ、明治五年(一八七二)に東京、外神田佐久間町へ進出し、明治六年(一八七三)に京橋築地二丁目へ移転、東京築地活版製造所(以下、築地活版所)へと発展した。本木昌造の後継者である平野宮二は、活版所の事業を磐石なものにすると共に、明朝体の改革に熱意をみせ、それと積極的に取組んだ。明治三十六年(一九〇三)に築地体の総仕上げ(第五次改刻)が行なわれ、名実ともに完成をみた。その成果が『東京築地活版製造所活版見本』(一九〇三年)である。四六倍判、四八〇ページにおよぶ大部のもので、明朝体、楷書体、ゴシック体のほか、欧文書体、朝鮮文字、梵字、その他活版のあらゆるものが網羅されている。さて、もう一方の秀英体はどうだろうか。秀英舎(一九三五年、日清印刷と合併、大日本印刷と改称)は、次号へ続く

タイポグラフィ

活字印刷つまりタイポグラフィの発生以来四角い枠にはめられた活字と明朝体やタグに使われるゴシック体・名刺に使用される楷書体の世界に写真植字機の出現によりその体系がガラリと変貌を遂げる事になりタイポスやゴナ・スー・ポ・ナル・ナウ・GU・シリウス・ツデイなど次々に制作され印刷のカラーが進むにつれ書体数もファミリー書体など同じ字体で微妙に太さなどがちが書体も出現し現在三百以上にも及びそれらをデザインしたちは、自由自在に切り詰め打ちという技法を写植に取り入れさせた。この時から活字の世界から見れば指をくわえて見るしかしかたがない崩壊の時代への始まりでもあり活字の基本がいかにも時代にそぐわないかのようにほとんど活字をいじくり回す。

ロゴタイプのように文字のはねを引き延ばしあげくはポップ体までこれが進めばいやはや象形文字に逆戻りするかも知、私は、前者の活字体はワープロにており、後者はディスプレイパブリッシングのアプリケーションにも見えてきます。しかし今でもベータシクは明朝体なのです。その次にゴシック系のゴナファミリーとオールファミリーやシリウス・ツデイなどがよく文章作成に使用されています。時代はさらなる自由とグラフィカルな近未来を目指して進み、先は象形文字になるやも? 今や、インテルや込みが無くならずより二十年前私に触らない。現代人は活字を読まなくなり映像やマンガ本を好む、若い世代ではもうすでに人間自身がマルチメディアに対応しているのではないでしょうか。

